

## 第 23 回警察署協議会連絡会議事録

### 1 開催日時

令和 6 年 2 月 7 日（水）午後 3 時 30 分から午後 4 時 50 分まで

### 2 開催場所

広島県警察本部

### 3 出席者

- (1) 警察署協議会 26 人
- (2) 公安委員会 5 人
- (3) 警察本部 11 人

### 4 概要

- (1) 公安委員長挨拶  
委員長より

- これまでコロナ禍において、文書開催等それぞれ工夫をされながら運営されていたが、今年度中は、これまでのところ、すべて会議形式での開催となり、各協議会において活発な意見が交わされていると聞いている。
- 本日の連絡会では、各協議会の運営状況について、複数の協議会から好事例の発表を行っていただくことになっており、大変楽しみにしている。
- 忌憚のない御意見を交わしていただき、今後の各協議会の場で活かしていただきたい。

旨の挨拶があった。

- (2) 警察本部長挨拶  
警察本部長より

- 昨年のサミット警備が完遂できたのは、皆様方をはじめ、県民の御理解と御協力のおかげであると考えており、お礼申し上げます。
- 本年、県警察では、「安全・安心を 県民とともに築く 力強い警察」を基本方針として、8つの運営重点を掲げている。  
先日の県下警察署長会議において、この基本方針と運営重点を基に各種課題に果敢に取り組んでいくよう指示したところである。
- 今後、各警察署協議会において、警察署長から、地域の実情に応じた方針や対策などを説明させていただき、皆様の御意見・御提言を頂く場面もあろうかと思うので、よろしくお願い申し上げます。
- 本日は、各協議会の取組みなどについて、7 警察署協議会から事例発表があるほか、協議会における意見や提言を活性化させるための効果的な方法についての自由討議があると聞いている。
- 忌憚のない御意見をお聞かせいただき、各協議会における今後の取組みの参

考にしていきたい。

### (3) 事例発表

各警察署協議会の実施状況について、次のとおり、7協議会の代表から事例発表があった。

#### ア 安佐北警察署協議会

委員から、「特殊詐欺、声かけ要領DVDの作成について」と題して発表があり、

- 第1回警察署協議会の中で、コンビニエンスストア経営者の委員から、「電子マネーを購入しに来られた詐欺の被害者と思われる方に声かけすると、逆切れされ困っている。」との意見が出た。
- 委員からの提言を受けて、協議会において特殊詐欺被害防止のための声かけ要領DVDを安佐北警察署、コンビニエンスストア、防犯組合連合会の方と協力して製作することとした。
- このDVDは、管内46店舗に配布し、各店舗で研修等を行った結果、管内の店舗で4件の被害を防止するなどの成果を挙げている。
- 今後は、協議会として、被害者の立場に立ったDVDの製作を行い、高齢者等に広めていき、特殊詐欺被害を1件でも減らしていきたい。

旨の説明とともに、同映像を視聴した。

《出席者の発言要旨》

安佐南警察署協議会委員から

- 管内すべてのコンビニエンスストアに配布したと聞いたが、各店舗において対応要領があらかじめ把握できていれば、大変効果的であると思う。

旨の発言があった。

廿日市警察署協議会委員から

- 製作費用はどこから出たのか。

旨の発言があった。

#### イ 世羅警察署協議会

委員から、「自転車用ヘルメット着用促進啓発動画の作成」と題して発表があり、

- 警察署協議会において委員から、「安心・安全につながる取組に『せらケーブルねっと』を活用したらどうか」、「学校や地域と積極的に協力した広報活動を行ってはどうか」、「自転車利用者のヘルメット着用の啓発活動をどのように推進していくのか」などの意見が出た。
- 委員からの提言を受けて、警察署では地元中学生の職場体験学習において、参加する中学生等と職場体験学習の内容を話し合ったところ、中学生から「警察官と一緒に事件・事故の発生抑止を呼び掛ける活動がしたい」「『せらケーブルねっと』に出演したい」などの意見が挙がり、題材は、令和5年4月から努力義務化された、自転車乗車用ヘルメット着用を促す広報啓発活動に決まった。

○ この広報啓発動画は、「せらケーブルねっと」で世羅町内全域で放映されたほか、世羅警察署の運転免許更新日に活用している。

○ 放映後、「せらケーブルねっと」へは、「中学生が自転車用ヘルメットの着用を呼び掛けることで、着用の重要性を感じた」「警察官を身近に感じた」など、普段にない町民からの反響が10件程度寄せられたと聞いている。

旨の説明とともに、同映像を視聴した。

《出席者の発言要旨》

警察側から

○ 県内のヘルメット着用率は、義務化前が4.2パーセント、義務化後7月に調査した結果が6.6パーセントとわずか2.4ポイントの上昇となっている。

着用率は、中学生が最も高く、高齢者が低い傾向となっている。

小さいころから習慣化することが今後の着用率の向上に繋がるものと考え

る。  
この度、中学生自らが考えてヘルメット着用を促す動画を作成し、町内の反響も高かったということで、大変すばらしい取組になったと思う。

こういった子供たちがインフルエンサーとなり地域のヘルメット着用の機運が広がれば効果的であるので、引き続きお願いしたい。

旨の説明があった。

ウ 竹原警察署協議会

委員から、「特殊詐欺被害防止の取組」と題して発表があり、

○ 当署協議会の前会長が今年の警察署協議会連絡会で、他所属の取り組み状況を聞いて、「竹原署も管内の学生らと協力して特殊詐欺被害防止や交通事故防止等の広報をしてはどうか」と提言した。

○ この提言を受けて、警察署では、地元中学生が考案した特殊詐欺被害防止標語などを中学生自身の声でアナウンスしてもらい、その音声を使用して特殊詐欺被害防止の広報映像を作成することとした。

○ この映像は、竹原警察署1階ロビーに設置のモニターで放映して、免許更新等の窓口来庁者への広報活動を行っている。

○ また、青色防犯パトロール車で行うパトロール活動の際に、中学生の声でアナウンスした広報音声を放送し、住民への呼びかけに活用している。

○ 地域住民からは「実際に孫に注意されているようだ」「詐欺に気をつけよう」などと、好評を得ている。

旨の説明とともに、同映像を視聴した。

《出席者の発言要旨》

広警察署協議会委員から

○ 中学生とコラボした作品を製作した中で、中学生たちに教育上の影響はあったのか。旨の発言があり、竹原警察署協議会委員から「中学生たちが受け身ではなく、自らが考え、行動した点で、効果があったと考えている。」旨の説明があった。

## エ 広島西警察署協議会

委員から、「三篠小学校周辺における交通安全対策」と題して発表があり、

- 以前から、地元の三篠小学校の学校関係者、町内会長や公民館館長などから、「この辺りは自動車の通行量が多く、歩行者や自転車にとっては大変危険である。児童が安全に登下校できる交通環境を整備して欲しい。できれば、歩行者や自転車の安全の確保を最優先としたゾーン30を整備して欲しい。」という声が上がっていた。
- また、三篠小学校学区内において、歩行者・自転車が関係する人傷交通事故の発生状況を調べてもらったところ、過去5年間で84件もの交通事故が発生しており、そのうち中学生以下の子どもがケガをした人数は8人もいたことから、警察署協議会において、三篠小学校周辺における交通安全対策を早急に図ってもらうために、「地域住民の要望や、ゾーン30はどんな対策なのか。整備するための手順として何が必要なのか。どうすれば整備されるのか。」といったことを意見、提言した。
- こうした提言を受け、警察署は、大変迅速かつ真摯に取り組み、三篠小学校周辺の区域をゾーン30として設定していただいた。
- 今年度中にはゾーン30が整備される予定となっている。  
また、整備後は、ゾーン内において歩行者等の交通安全が確保されるように、地域住民やドライバーの方への広報や交通指導取締りを行っていただき、交通事故抑止がさらに推進されることを期待している。

旨の説明があった。

《出席者の発言要旨》

広島中央警察署協議会委員から

- 広島中央警察署管内は、商店街やアーケード、一方通行路等が多い地域で、特に大人が交通法規やルールを守らない者が多く、危険である。こうした方に交通法規等を守らせる啓発が重要である。

旨の発言があった。

福山東警察署協議会委員から

- ゾーン30であるとわからず通行する方もいるので、ゾーン30を周知させることが事故抑止に繋がると思う。

旨の発言があった。

## オ 府中警察署協議会

委員から、「自転車等の乗り物盗難の被害防止対策について」と題して発表があり、

- 本年度第1回目の警察署協議会において、警察署から自転車盗の発生状況の説明を受けた後、委員から、「自転車盗の発生が多い駅周辺に防犯カメラを設置すれば抑止に繋がるのではないか。」旨の提言を行った。
- この提言を受けて、警察署において、防犯カメラの増設を府中市に働きかけたところ、同市議会の予算審議を経て、JR福塩線高木駅前のほか、交通

量の多い交差点の2か所に新たに防犯カメラが設置されることとなった。

- 引き続き、市民・行政等が一体となり、府中市の安全安心に繋がる活動を行っていききたい。

旨の説明があった。

《出席者の発言要旨》

庄原警察署協議会委員から

- 庄原市においては、中心部と周辺部では実情が違うので、効果的な設置は実情を考慮して設置すべきと考える。今回、協議会、市、警察とが協働して防犯カメラを設置したことは大変参考になった。

旨の発言があった。

#### カ 東広島警察署協議会

委員から、「女性警察官との対話会」と題して発表があり、

- 当協議会は11名の内5名が女性委員であり、これまで男性社会の中、仕事と育児や介護を両立してきた経験を現役の女性警察官の方にアドバイスできればという思いで「女性が一層活躍するための環境づくり」というテーマで女性委員と女性警察官との対話会を行った。
- 県警察における育児支援制度の現状等については、休暇取得の促進や男性の育児参加の体制が整っており、私が現役で教員として働いていた時に比べ格段に充実していると感じた。
- 一方、定年まで仕事を続ける女性警察官は男性に比べて少ないという話や職場に託児施設を整備してもらいたいという率直な意見も聞かせていただいた。
- 幹部の方には、女性の才能をどう生かしていくかを考えていただき、職員の意見や要望をくみ上げられる環境づくりと女性職員の不安や悩みの解消に向けた支援を勧めていただきたい。
- 今後は、幹部の方や男性協議会の委員を含めた意見交換が出来ればと考えている。

旨の説明があった。

《出席者の発言要旨》

警察側から

- 県警察における女性警察官の割合は、全体の10.9パーセントとなり、令和8年までに12パーセントにすることを目標としている。
- 女性の仕事と育児の両立支援制度や男性の育児休業等制度面では充実してきている。
- 人事上の配慮についても、ある署では、夫婦同じ署で勤務し、お互いに育児サポートをしながら仕事もちゃんと行っている。
- 育児も仕事も頑張りたいという方に対するサポートの意識改革も県警察の中で高まってきている。
- 県警察学校における研修は、寮生活を伴うが、女性のキャリアアップのため

め、育児をしている女性職員は、自宅からの研修を認めている。

- 捜査部門を希望する育児中の女性警察官に対し、定員外のポストを設けて勤務させ、キャリアアップを図っている。

旨の説明があった。

#### キ 福山西警察署協議会

委員から、「協議会委員によるサイバーセキュリティ講習の実施について」と題し発表があり、

- 本年度第1回警察署協議会において、協議会委員による「サイバー講習会」を開催した。
- この経緯は、本年度新規委嘱委員である大学3回生の委員が所属活動するサークル「サイパット・エフユー」の作成動画「ランサムウェアの脅威」が令和4年度の警察庁主催コンクールで「全国第2位」を受賞したことから、協議会開催時にこの受賞作品の披露と講習を坂本委員に依頼して実施した運びとなった。
- 講習会は、同委員自らインターネット上の脅威について説明し、「インターネットを利用する事は手軽である反面、利用者個人に対して様々な危険が内在するもの」ということが強く認識できた。
- 福山西警察署協議会では、「若者目線の意見」などを積極的に取り入れて、今後も「地域の安全安心」の確立に向け、なお一層取り組んでいきたい。

旨の説明があった。

《出席者の発言要旨》

福山東警察署協議会委員から

- 大変参考になった。当協議会も大学生や若い委員がいるので、ぜひ活動してもらえるよう働きかけたい。

旨の説明があった。

#### (4) 自由討議

「警察署協議会における意見・提言を活性化させるための効果的な方法について」意見交換を行った。

《出席者の発言要旨》

江田島警察署協議会委員から

- 当協議会の委員は5名で内3名が女性となる。協議会では、委員より警察署幹部の人数の方が多くて、皆、緊張して発言が出にくい。
- そこで、会長自ら、最初に提言を行うようにしている。先に会長が発言することで、他の委員から意見が出やすくなっている。
- 今後とも、できるだけ、意見・提言が出やすく、活性化するよう運営を行っていきたい。

旨の説明があった。

#### (5) コメント（所感）

##### ア 警察本部長

- 皆様の意見・提言が実際に業務運営に反映された施策があったが、大変地域にとってタイムリーな治安テーマである特殊詐欺であったり、ヘルメット着用やゾーン30といった交通安全対策あるいは自転車盗、これらは県警全体でも大変重要な治安テーマであるが、難しいテーマについて地域で熱心に議論いただき非常に有効な施策・意見をいただいたことに感銘を受けた。

また、実際そういった声を業務面に取り入れた結果として、映像や音声などは、地元のコンビニエンスストアの店員、生徒が出演し有効であると感じた。

- ゾーン30、防犯カメラも速効性が期待できる施策であるので、治安の向上に貢献するもので大変ありがたく拝聴させていただいた。
- 女性委員と女性警察官との対話会では、職員は、貴重な経験談を聞いて大変心強く思ったと思う。
- 若い委員のサイバー講習での助言・意見では、警察官全体のサイバーリテラシーをあげていこうと努めているところであり、大変有効な場になったと思う。これら2つの取組はむしろ警察の側が力・勇気をいただいたということで合わせて感謝申し上げる。
- 地域住民、警察が一体となって取り組んでもらっていることに心強く感じた。今後も有効な御意見をいただくようお願いしたい。

#### イ 公安委員長

- それぞれの協議会の皆様が地域の住民の方々の声や要望を丁寧に拾っていただき、警察と地域の橋渡しの役割になっていただきながら地域の安全安心を守るチームとして、一丸となって防犯や交通安全に取り組んでいることに頼もしく思った。
- 発表の中で、若い世代の中学生、大学生の方々とのコラボレーションや女性委員と女性警察官との対話会など異なる世代と関わることで、それまで見えてこなかった新しい視点が見えることが今後のよりよい社会づくりに役立っていただけるのではないかと期待している。
- 今後ともそれぞれの地域の特色を生かしながら、地域の安全安心を守る取組に御尽力いただきたい。